

ールしなきゃいけないということらしいのですよ、どうも。」

聞「なんか押し付けがましいというか、強引というか、稚拙な感じさえもしますね。」

福「ええ、今の都政の仕事をしそうですね。」

一貫性なく強引に進められていく

福「石原東京都知事は所信表明で、環境！環境！環境！環境！ばかり言ったのですね。そこではエネルギーの無駄使いはしない、夜も無駄なエネルギーはなるべく使わないようにということで、無駄なネオンサインは消しましようと言っているのですが、自分の所の都庁には五色のライトアップがされているんですよ。」

聞「完全な矛盾ですね。責任は他人に押し付けるだけで、自分は殿様気分なのでしょうか？」

福「そう思いますよね。でも誰も『変じゃない？』って言わないんですね。そんなふうに知事はいろんなことを仰いますけども、言っていることはその場その場で、すごく違うことが多くて、『良いこと言うなー。』というときもあるんですけど、その後が問題になってくる。何かの発言をして、その後だいぶ時間が過ぎてから違うことを言うのならまだ分らないではないんですが、その場で矛盾したことを言ったりするんですよ。」

聞「そうですね。そんなことは知りませんでした。」

福「マスコミが取り上げてくれると良いんですけどね。『さっき言ったことと違うんじゃないんですか？』ってね。そんな中で私の活動の一つは、議会での質問なのですが、年に一回と制限されているんです。」

聞「議会は話し合いをする場ですよ。なのに質問が年一回だけとは、どういうことでしょう

か？」

福「これは議会側が悪いんですけど、私が最初議会の度に毎回質問していたら『福士ばかり目立ち過ぎる』というクレームがあったらしくて、年に一回しか発言権を認めないということになりました。その他の方法としては文書質問というのがあるのですが、返ってくるのがすごく遅いんですよ。例えば3月に質問をしたら6月にしか答えが返って来ない。だから、今すぐでなくてもいいはねってような話ばかりになってしまいます。そんな状況なので、一貫性なくコロコロと変わってってしまう方針を正すことが、なかなかできないのです。」

聞「お金に関する方針も、コロコロと変わっているのでしょうか？」

福「はい、ひどいもんです。オリンピックについての閣議了解が得られましたが、これには『オリンピックはやってもいいですよ、けれども簡素にやって下さい』ってということがしっかり書かれているんですよ。国はオリンピックにあんまりお金を出したがる。そういう状況なので石原都知事は、国がお金を出してくれないなら自前でメインスタジアムを作るよということで晴海にスタジアムを、東京都の税金で作るといような形になったんです。それ以外にも予算はどんどん膨らんでおります。」

聞「閣議了解の内容が、ないがしろにされているのですね。」

福「国内候補地選考の際に提出された福岡の計画の方が、よほどきちんとしていました。日本オリンピック委員会(JOC)の方でさえ、そう言っていました。それくらい東京の計画は杜撰でした。じゃあなぜ東京が選ばれたかというと、それはお金の面が有利だったからです。」

聞「どんな点で有利だったのですか？」

次号につづく